

## 産業

### 農業

与那原町地域計画に基づき、町農業委員会やJAおきなわ、農地中間管理機構などの農業関係機関と連携し、地域の中心となる農業従事者に農地の集約化を進めることも、次世代を担う認定新規就農者や地域の農業者への支援を行います。



### 水産業

水産業の継続的な発展のため、国や県、西原町と連携し、漁業関係者への支援を行います。また、老朽化や組合員の増加、船の大型化により手作業になった漁具倉庫の建設を令和7年度からの継続事業とし

て、令和8年度も水産業強化支援事業を活用し整備を行い、漁業者の所得向上と経営安定を支援します。



### 商工業

物価高騰や不安定な社会情勢の影響により、町民の皆さまや事業者の皆さまを取り巻く環境は依然として厳しい状況です。こうした状況を踏まえ、町民を支援しつつ地域経済を活性化するため、「2026与那原町つなひきかちゃん商品券」を発行し、家計への支援と町内事業者の利用促進を図ります。

また、町と商工会、関係支援機関が連携し、事業承継の相談窓口と相談体制を整えています。町内の事業者への支援を通じて地域課題の解決を図ります。

### 観光

「与那原町観光ビジョン」に基づき、事業を着実に推進します。観光施設や教育施設、町内の史跡等を歩いて巡る周遊観光を進めます。また、令和7年度に刷新した「YONABARU NAVI」を活用し、町内店舗のPRやイベントの開催、町の観光情報の発信を強化します。与那原大綱曳まつりは、内容の充実や運営方法の見直しを図り、各種団体と連携しながら、町民に元気と活力がみなぎる持続可能な取り組みを積極的に進めます。

また、特産品の開発や現在ある特産品のブラッシュアップを行い、ふるさと納税の返礼品を充実させ、さらなる寄付額の向上につなげます。



### 地域福祉

超高齢社会に対応するため、高齢者福祉の充実が待ったなしの課題です。高齢者施策では、新たな介護予防事業への転換と地域包括ケアシステムの充実を強化し、切れ目のない支援を目指します。また認知症の早期発見の取り組みを継続し、初期段階からの支援や医療機関などと連携を図るとともに、地域の理解と協力体制を築き、ご本人やご家族の視点に立った施策を展開します。障がい者施策では、基幹相談支援センターを中心に相談支援の充実と地域との連携を進め、必要に応じた障害福祉サービスの適切で迅速な決定に努めます。また、地域福祉の拠点である



社会福祉協議会との連携強化、ボランティアの育成や住民活動の推進を図ります。高齢者や障がい者の自立支援のための巡回型町内バス実証実験は、より利便性の高い運用を進めることも、今後の方向性、本格運用も検討し、誰もが生きがいを持って暮らせる共生社会の実現に取り組めます。

### 子育て

令和8年度も子育て支援は重要施策の一つと位置付け、すべての子どもが健やかに成長し、保護者が安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。4月より子ども家庭センターを設置し、妊産婦、児童、子育て世帯への相談支援を一体的・包括的にを行います。

保育行政では、保育士等就労支援金制度及び保育士等修学資金貸付事業を実施し、保育士不足による待機児童の解消に継続して取り組みます。あわせて「子ども誰でも通園制度」を町立保育所で実施し、未就学児の成長促進と保護者の負担軽減を図ります。

また、原材費・人件費の上昇に伴う物価高騰により、子育て世帯の負担が大きくなってい

ることから、子ども・子育て支援交付金、一括交付金等を活用し、継続的な支援を行います。

子育て世代への経済的支援策として、特にひとり親家庭の経済的負担が大きいことを踏まえ、学童利用料の負担軽減や母子・父子医療費助成において中程度以上の障がい有する18歳から20歳未満の児童の保護者までの対象拡大などを実施し、ひとり親家庭を多方面から支援します。子どもの居場所として拠点型1力所、従来型3力所を設置するとともに、自立支援員を配置し、生活困窮世帯の把握に努めます。関係機関と連携し、児童や家庭に寄り添いながら自立に向けた支援を行います。



児童虐待は、子どもの人権を侵害し、心身の成長に大きな影響を及ぼすことから、未然防止と早期発見・早期対応を図るとともに、虐待が発生した際にきめ細かな支援と再発防止を行うため、関係各課・関係機関との連携を強化します。

### 健康づくり

町民の健康寿命延伸に向け、生活習慣病の発症予防および重症化予防に継続した支援を行います。

各種保健事業については乳幼児健診、妊産婦健診、特定健診、長寿健診、一般健診をしっかり受診いただき、「自分の健康は自分で守る」をスローガンに、健康でいきいきとした生活習慣を意識できるよう情報提供を行います。胎児期から高齢期までのライフコースアプローチの視点に立った健康づくりを支援します。

また、糖尿病性腎症や慢性腎臓病などの重症化・再発予防についても、対象者を抽出し、保健指導などを継続して行います。

### 危険薬物対応

若年層への危険薬物浸透は看過できない社会問題です。本町の将来を担う子どもたちの未来を危

険薬物から守り抜くため、与那原警察署や教育委員会をはじめとする関係機関と密に連携し、実効性のある啓発活動を強化します。行政・学校・地域が相互に手を取り合い、薬物を寄せ付けない安全な環境づくりに、町民一丸となって取り組みます。

### 国民健康保険と後期高齢者医療

国民健康保険制度は、令和8年度も保険税率の見直しを行い、保険税の適正賦課、適正納付を促進します。また、医療費分析を進め、医療費適正化に向けた取り組みを強化します。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰による経済的負担を軽減するため国保加入者18歳未満の子どもに係る均等割相当額を給付します。

後期高齢者医療制度については、高齢者に対し親切、丁寧でわかりやすい説明に努めます。

### 暮らし

#### 消防

東部消防組合は、消防活動車両2台の導入と消防団への軽消防自動車1台の寄贈による整備を行い、東部消防本部並びに東

### 防災・減災

部消防団の設備機能強化を進めています。今後も消防・警防体制の強化を図り、町民の生命や財産の保護に尽力します。



全国各地で自然災害が激甚化・頻発化し、多くの被害が発生しています。県内でも起こり得ることを想定し、各区の自主防災組織の連携強化に努め、関係団体と連携し、地震・津波防災避難訓練を継続して実施することで町全体の防災意識の向上と地域防災力の強化に努めます。

また、防災行政無線の屋外スピーカーは、広範囲で聞き取りやすい高性能型への更新に着手

### 防犯

町民が犯罪に巻き込まれない、被害に遭わない、安心・安全に生活できる町の治安維持のため、防犯パトロールの強化や防犯力×ラの適正な運営により犯罪を未然に防ぎ、住みよいまちづくりを推進します。

### 交通安全

飲酒絡みの構成比率は昨年まで4年連続全国ワーストとなるなど、県内の交通情勢は楽観できる状況ではありません。引き続き与那原警察署などと連携し、児童生徒の登下校時における交通安全指導や交通安全教育の実施、飲酒運転の根絶に向けた取り組みを強化します。また、交通事故防止に向けた「予防的対策」を強化します。

通学路の安全確保については、各行政区からの要望を踏まえ、危険箇所への安全対策工事に取り組みます。安全設備の新設改良を積極的に行い、地域一体となって交通事故発生要因の解消に全力を注ぎます。